

南越谷地区成人式  
～翔べ2012 無限の社会へ～  
富士中学校体育館 1月8日(日)

天候にも恵まれ平成23年度南越谷地区成人式が開催されました。多くの来賓が臨席され、地区の実行委員、新成人実行委員による運営で粛々と行われました。

式典は、廣瀬朗人さんの司会で飯島孝子実行委員長の挨拶、越谷市長の式辞、市議会議長から新成人にお祝いと期待の言葉が述べられました。次に山口教育委員長より中村真弓さんに記念品を贈呈。続いて来賓紹介があり、特に恩師の時には一段と大きな歓声が上がっていました。荻野翔馬さんからは、新成人として力強い誓いの言葉が述べられました。

式典後は新成人の手作りによる抽選会で盛り上がり、またあちこちで恩師を囲み久しぶりの再会に話が弾んでいました。この度の新成人出席者は184名で出席率は67.9%でした。

S・H



実行委員 誓いの言葉: 荻野翔馬さん 記念品贈呈: 山口教育委員長より中村真弓さんへ 司会: 廣瀬朗人さん 飯島孝子実行委員長挨拶

子ども発表会  
南越谷地区センター多目的ホール 3月4日(日)

南越谷公民館主催「子ども発表会」が行われました。「パレット子育て広場」は子どもと母親が一緒になって劇と合奏、「子ども太鼓どんどこ」は勇壮なパチカキ、「チアリーディング」は可愛く華やかなパフォーマンスを披露、日頃の練習の成果を発表しました。また、おはなしタイムとして「わくわくお話広場」による絵本朗読も行いました。会場は大勢の子どもたちと保護者たちの笑顔と熱気であふれていました。

Y・N



パレット子育て広場 わくわくお話広場 チアリーディング 子ども太鼓どんどこ

第4回協働フェスタ開催  
主催: 協働フェスタ実行委員会  
越谷市中央市民会館 1月28日(土)

市内で活動する市民活動団体をはじめ地域活動団体や企業、行政が協働のまちづくりを目指し、今回は「大きなお世話でまちづくり」をテーマに、ボランティア団体と市民活動団体の計120団体が活動の発表と情報の提供が行われました。

「協働のまちづくりシンポジウム」として基調講演と「防災活動と被災地支援」のパネルディスカッション、各種団体のイベント、展示、会場内を巡るスタンブラー、バザー、会館前広場では、模擬店は、ボランティアによる越谷産の野菜を使った豚汁風の「おおきなお世話なべ」が販売されました。越谷全コミ協も初参加。当南越谷地区コミ協は2階に大パネルで年間事業を展示しました。

S・H



2階展示コーナー 基調講演

**ボトルキャップ回収報告** 期間: H19.12.1~H24.3.13  
累計で **3,440,120個** ポリオクテン / 4,826人分  
CO2発生削減 / 30,408Kg でした。 今後とも 宜しくお願いします!

### 南越谷地区「総合防災訓練」 ～新たな気持ちで～

南越谷小学校 3月11日(日)

東日本大震災発生から1年後にあたるこの日、南越谷地区コミュニティ推進協議会及び南越谷自治会連合会主催、関係機関のご協力のもと、338名の参加で総合防災訓練が実施されました。

訓練に先立ち、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りした方々のご冥福をお祈りした。高橋市長からは地域を護る防災訓練の重要性として、災害時は「自助」「共助」「公助」を理解し、まずは訓練から学び、自分自身を守ってくださいとの挨拶があり、訓練に入りました。

訓練では、応急救護・AEDの使い方・消火器訓練・バケツリレーを熱心に行い、震度体験は、今年一番関心があり長蛇の列となっていました。はしご車搭乗でも多くの子もたちが体験をしていました。その他、煙中体験・車椅子体験、災害ボランティア活動、



R・N



災害ボランティアセンター バケツリレー 市長挨拶 ライフライン給水 煙中体験 応急救護 炊き出し 震度体験 AED体験 炊き出し配布 はしご車搭乗体験 初期消火訓練

**編集後記** 東日本大震災から1年が経って、今更ながら自然の脅威の前に「人」の無力さ、「命」の脆さを見せつけられました。しかしながら、日本人の粘り強さ・連帯感など国民性の素晴らしさを実感するとともに国際的支援にも感謝!

S・H

**お知らせ**  
●コミ協総会 平成24年5月11日(金)  
●南越谷地区一斉清掃 平成24年5月27日(日)



# 第12回まちづくりシンポジウム

越谷市中央市民会館 2月18日(土)

毎年この時期に行われている発表には今回5地区のコミ協が参加しました。テーマは「地域における伝統文化の継承」に関する事例発表です。

●増林地区の「さわやかウォーキング17」(歩きながら歴史を学ぼう)では、郷土研究会の協力を得て12km29力所の史跡を巡り、故郷のよさを発見しようというものでした。

●新方地区の「北川崎の虫追い体験」では、たいまつに火を灯し、あぜ道を行進しながら害虫を追い払い、豊作を祈願する江戸時代から続いている農家の伝統行事の様子を発表、たいまつと藁調達など苦労されているようでした。

●大袋地区の「越谷梅林公園梅まつり」では、18回目となる梅林公園梅まつりの計画から野点や演奏、踊り、模擬店、児童画コンクールなど催し、今年は開催される2日間、北越谷駅西口から無料シャトルバスの運行状況を説明されました。

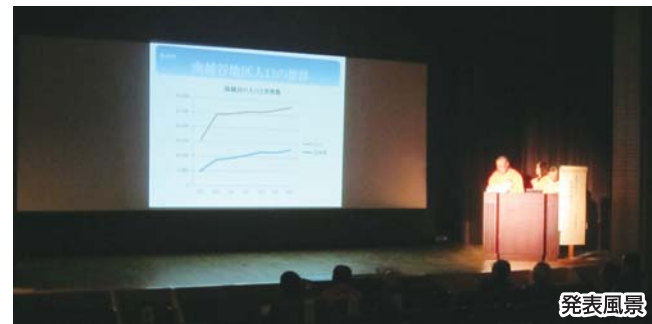
●大相模地区の「ひなまつり事業」では、地域の方から寄せられた「年数が経ち飾ることがなくなった雛人形」をきっかけに、地区センター内に華やかに飾り、野点などを催

し、交流の場としたことが紹介されました。

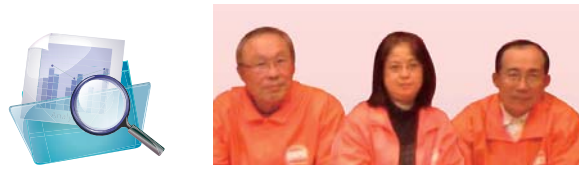
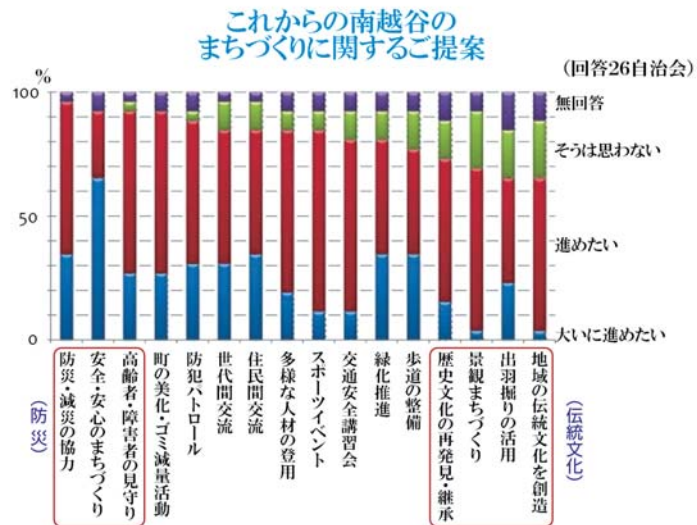
●当南越谷地区の「南越谷の文化」では、古くからの伝統文化はありますが、急速に発展して来た地区のあゆみから文化的な事業「フェスティバル」「パレットステージ」「世代間交流」「公民館事業」などの説明と、各自治会に依頼したアンケートの一部を紹介し、これからの文化事業への取り組みを発表しました。 S・S



参加者



発表風景



発表者：左から、長井・深谷・落合氏

南越谷地区センター・公民館玄関前にて「花いっぱい運動」が行われました。毎回、環境・衛生部会を中心に、鳩ヶ谷・別府線沿いに花植えを行っています。今回は南越谷地区各自治会への花苗の配布という事で、多くの自治会役員が玄関前に集合し、ピオラの苗を持ち帰られました。

地区内に植えられた色とりどりの多くの花が春の訪れとともに咲き乱れ、少しでも南越谷地区の緑化運動につながってくださることを期待します。 Y・F



ピオラ配布

# 花いっぱい運動

各自治会への花苗の配布 3月4日(日)

# 自転車マナー向上啓発ポスター配布

防犯部会では、自治会内の掲示板を対象に2月8日、自転車マナー向上啓発ポスターを配布しました。正しいルールを知り、安全に自転車を利用しましょう! S・H



# 彩の国21世紀 郷土かるた大会続報

南越谷地区代表健闘

南越谷地区の代表選手は左記の3大会に出場、県大会では参加団体120チーム(480名)、個人120名の参加の中で健闘しました。 S・H



県大会出場選手

団体チーム名/個人名	越谷市大会 2月11日(土祝)	埼玉南支部大会(三郷市) 2月19日(日)	埼玉県大会(川崎市) 3月11日(日)
杉の子Aチーム(瓦曽根3丁目)	準優勝	第4位	—
ファミリータウンAチーム	第3位	ベスト8位	—
赤山町3丁目Aチーム	第3位	—	ベスト16位
森下 裕咲子(茜町)	準優勝	準優勝	—

# 第2回自治会シンポジウム

共催 越谷市自治会連合会・越谷市 越谷市中央市民会館 2月18日(土)

自治会を取巻く環境は、高齢化社会の到来や自治会加入の減少など大きく変化している中、特色ある活動を行っている自治会が熱のこもった成果発表をしていました。

越谷市13地区自治会の方が出席し、高橋越谷市長の挨拶後、東越谷イベンパーク(四季の里)運営協議会、出羽地区防災組織連絡協議会、弥十郎自治会の三自治会が昨今の自治会の課題である「高齢化社会の到来」「自治会加入者の減少」「地域活動が困難」などを取り上げていました。高齢者特に一人暮らしの把握、近隣地区を巻き込む活動(一自治会では活動できない)、あらゆる異世代との交流を説明されました。

三自治会ともトップがリーダーシップをもって自治会を運営していくことが重要であると締めくくっていました。 T・N



自治会発表風景

# 犯罪防止街頭キャンペーン

市長も参加で防犯パトロール

昨年の12月22日(金)夕方、南越谷・新越谷駅前街頭で越谷市・越谷警察署・越谷市防犯協会の主催による「犯罪防止」街頭キャンペーンが行われました。これには安全安心まちづくり推進協議会と越谷警察署が官民一体となつて総勢90名が参加しました。

実施に先立ち、参加者全員で道行く皆さんに犯罪防止のチラシとグッズを配布し「みんなで作ろう安心の街」の昇り旗を先頭に、徒歩で地区内の防犯パトロールを行いました。 T・N

毎月南越谷駅を起点に、南北に分かれてパトロールし、無灯火自転車への注意を行っています。



パトロール前の市長挨拶



パトロールの様子

# ごみ分別収集報告会

主催 越谷市役所環境資源課 南越谷地区センター 2月3日(金)

越谷市環境資源課リサイクルセンターより平成22年度「ごみ分別収集」について報告があり、南越谷地区自治会の廃棄物減量等推進委員が出席しました。

ごみ排出量は平成18年度より15分別を実施してから確実に減っている。ただし、平成23年度は東日本大震災の影響もあり若干増加気味とのことでした。一方燃えるごみは「雑紙」の混入、危険物の分別が例年通り課題として残り、今年さらにはトレイ・パックなどの汚れ、雨の日に着用を出して濡れるため再生ができないなどが目立っていました。ごみ集積所は、皆さんからの苦情をまとめると「とても汚い」が年々少なくなっているが、通りすがりの「ポイ捨て」があり、集合住宅などで守られていない所がある。各自治会の意見交換でもこのことが議論集中していました。これらのことは、市役所サイドでカレンダー・要望書などの配布で直接指導していくとのこと。また各自治会からの情報提供も望んでいました。 T・N



報告会